



2021年3月期第1四半期決算報告 2021年3月期業績見通し



コ ー ド : 5 9 8 5

2020年8月6日

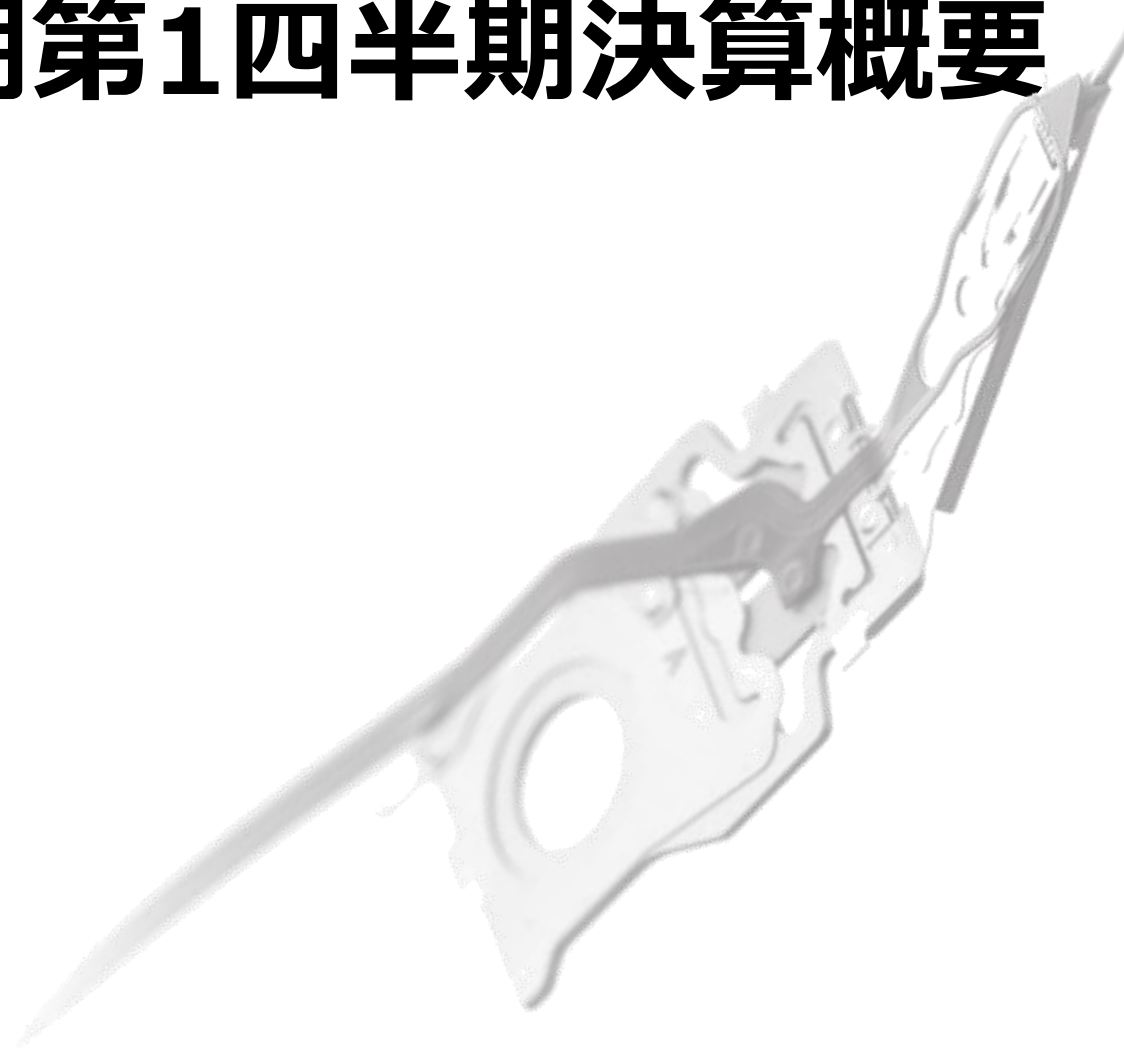
©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

A partial view of a grey gear with a white center hole, located in the top-left corner of the slide.

1.2021年3月期第1四半期決算概要

2.2021年3月期業績見通し

2021年3月期第1四半期決算概要



2021年3月期 第1四半期決算のポイント

- 売上高 7,964百万円（前年同期比▲22.5%）
- 営業損失▲745百万円（前年同期から▲901百万円悪化）

新型コロナウイルス感染症の拡大で、大幅な減収減益

- 新型コロナウイルス感染拡大の地域別影響
 - * 海外子会社の1Q決算期間は1～3月
中国……………各地ロックダウンで影響大⇒4月以降2Q回復
北米、アジア…比較的影響少（3月のみ）⇒4月以降2Qロックダウンで影響大
 - * 日本国内会社の1Q決算期間は4～6月
緊急事態宣言発出され、自動車販売・生産は大幅な減少⇒7月以降徐々に回復方向
- 自動車分野
自動車関連：日本国内、中国を中心に大幅な売上減
- 電子情報通信分野
 - * HDD用サスペンション：需要は高水準だが、新型コロナウイルス感染症の拡大でフィリピン拠点封鎖され、顧客への出荷停滞。
 - * プリンター関連：オフィス向けプリンター需要減が影響し減少

2021年3月期 第1四半期 決算概要

POINT

- 売上高 新型コロナウイルス感染症の拡大で、前年同期比22.5%減収
- 営業利益 大幅減収の影響で、営業損失（▲745百万円）を計上。
操業度に応じて、人件費（派遣費用・時間外）削減、
不急投資延期による減価償却費削減、など経費コントロールは実施。
- 経常利益 メキシコペソ安によるメキシコ子会社為替差損発生▲173百万円

(百万円)	2020年3月期第1四半期	2021年3月期第1四半期		
	実績	実績	前年同期比増減額	前期同期比増減率
売上高	10,270	7,964	▲2,305	▲22.5%
営業利益	156	▲745	▲901	—
経常利益	200	▲876	▲1,077	—
四半期純利益	120	▲680	▲800	—
一株当たり利益	3.76円	▲21.52円	▲25.28円	—
平均為替レート	109.90円/ドル	107.62円/ドル	—	—
	123.49円/ユーロ	118.47円/ユーロ	—	—

2021年3月期第1四半期 製品区分別売上

POINT

■自動車分野

材料関連：メキシコ弁ばね用鋼材需要が増加

■電子情報通信分野

自動車関連：新型コロナウイルス感染拡大で前年同期比減収

HDD用サスペンション：データセンター投資高水準で需要堅調だが、
新型コロナウイルス感染拡大でフィリピン拠点が封鎖され、出荷減少

■その他

プリンター関連：テレワーク普及などでオフィス用途の需要が減少
スマートフォン用部品量産が寄与

(百万円)	2020年3月期第1四半期	2021年3月期第1四半期		
	実績(A)	実績(B)	増減額B-A	前年同期比増減率
売 上 高	10,270	7,964	▲2,305	▲22.5%
自 動 車 分 野	7,481	5,349	▲2,132	▲28.5%
材 料	1,184	1,344	160	13.5%
自 動 車	6,296	4,004	▲2,292	▲36.4%
電 子 情 報 通 信 分 野	2,591	2,343	▲248	▲9.6%
HDD用サスペンション	1,532	1,373	▲158	▲10.4%
プ リ ン タ ー	839	746	▲93	▲11.1%
通 信	220	223	3	1.5%
そ の 他	196	271	75	38.2%

2021年3月期第1四半期 地域別売上

POINT

- 日本 自動車分野：新型コロナウイルス感染拡大で大幅な減収
自動車関連製品：2月まで前年並みも3月新型コロナ影響で減少。
- 米国 通信関連：光通信産業の設備投資減少で販売低調
- 中国 自動車分野：新型コロナウイルス感染拡大で大幅な減収
- フィリピン HDD用サスペンションが減収
- その他 メキシコ弁ばね用鋼材需要が増加

(百万円)	2020年3月期第1四半期	2021年3月期第1四半期		
	実績	実績	前年同期比増減額	前年同期比増減率
売上高	10,270	7,964	▲2,305	▲22.5%
日本	4,603	2,738	▲1,865	▲40.5%
米国	1,135	908	▲226	▲20.0%
中国	855	701	▲154	▲18.0%
フィリピン	1,556	1,325	▲231	▲14.9%
その他	2,119	2,290	171	8.1%

(注) 会計年度の相違で、米国・中国・その他地域は主として1～3月、日本・フィリピン地域は4～6月

2021年3月期第1四半期 連結財務諸表

新型コロナウイルス感染拡大の影響で縮小

POINT

- 売上債権減少 : 売上高減少
- 流動負債減少 : 買掛金減少、固定負債減少、長期借入金返済等で▲427百万円
- 純資産減少 : 当期純利益▲680百万円、配当金▲351百万円、
為替換算調整勘定▲606百万円

(百万円)				2020年3月期末	2021年3月期第1四半期	
				実績	実績	前期末比増減額
資	産	合	計	50,921	48,250	▲2,670
	現	預	金	8,743	7,908	▲835
	売	上	債 権	9,444	7,044	▲2,399
	棚	卸	資 産	6,835	7,302	467
	そ の 他	流 動	資 産	773	764	▲9
	固	定	資 産	25,124	25,230	105
負	債	合	計	15,008	13,854	▲1,153
	流	動	負 債	11,599	10,970	▲629
	固	定	負 債	3,408	2,884	▲524
純	資	産	合 計	35,913	34,396	▲1,517
負 債	純 資 産	合 計		50,921	48,250	▲2,670

2021年3月期第1四半期 キャッシュ・フローの状況

POINT

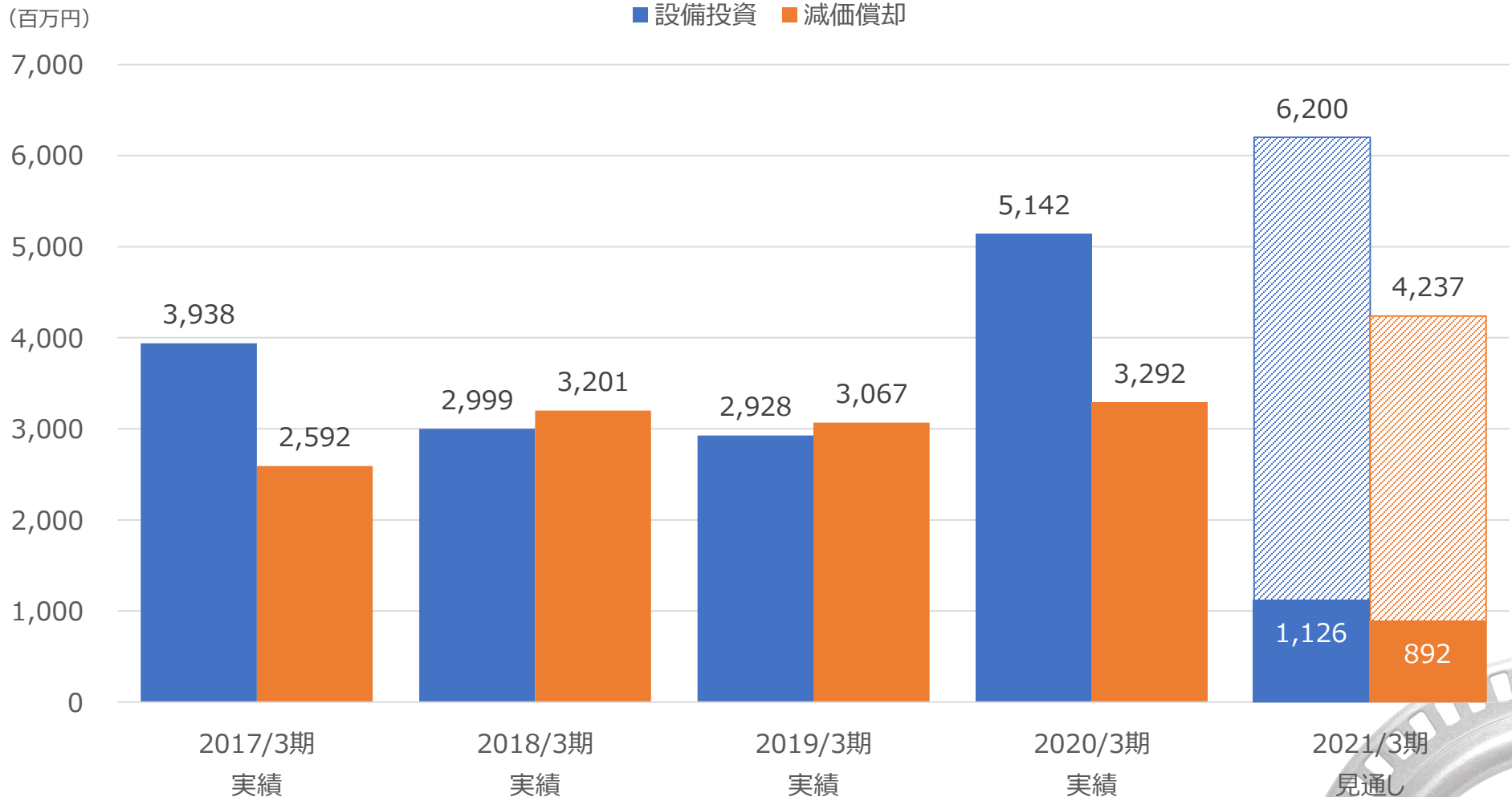
- 営業C/F 税引前利益が前年同期比▲1,106百万円減少したが、売上債権の減少により前年同期比で371百万円増加し、1,050百万円
- 投資C/F 自動車関連や新製品を中心に設備投資を実施

(百万円)	2020年3月期第1四半期	2021年3月期第1四半期	
	実績	実績	前年同期比増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	679	1,050	371
税引前当期純利益	223	▲883	▲1,106
売上債権増減	330	2,228	1,897
棚卸資産増減	▲211	▲660	▲449
減価償却費	705	892	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,011	▲1,085	▲74
有形固定資産取得	▲968	▲1,063	▲95
投資有価証券売却	44	—	▲44
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲489	▲707	▲217
長期借入金増減	▲274	▲441	▲166
配当金支払	▲296	▲291	5

2021年3月期 設備投資・減価償却の状況

POINT

- 1Qは自動車分野を中心に1,126百万円の設備投資を実施（コロナにより一部は抑制）
- 新製品・成長製品への投資継続



※上記設備投資額については完成ベース

2021年3月期通期業績見通し



2021年3月期 通期業績見通しのポイント

- 売上高 38,000百万円（前期比▲10.3%、▲4,354百万円）
- 営業損失▲1,900百万円（前期比▲3,275百万円）

新型コロナウイルス感染症の拡大で、自動車関連の大幅な減収減益を想定
他方、電子情報通信分野は下期に前年同期比27.1%増と大幅回復へ

- 新型コロナウイルスによる各国行動制限は徐々に解除方向だが、一部地域では感染拡大継続により行動制限が再び強化され、予断を許さない状況
- 自動車分野（前期比▲17.6%）
2Q（7-9月）以降の売上：
2Q：直近の自動車メーカー等内示ベース 3Q・4Q：2Qから一定の回復を想定
- **電子情報通信分野（前期比+14.5%）**
 - * HDD用サスペンション：新機種増対応で設備投資を促進、
2Q以降売上回復へ
 - * プリンター関連：オフィス向けプリンター需要減が影響し減少を見込む

2021年3月期業績見通し＊下期回復へ

POINT

■売上高

新型コロナウイルス感染症の拡大で、自動車関連売上は、減少。HDD用サスペンションは、前期比で、増加。

■営業利益

主要製品の大幅減収に加え、**成長分野・次期主力製品への投資継続による減価償却費増加等**で、営業損失▲1,900百万円

■トピックス

5G、IOT進展によるデータ量拡大でデータセンター需要は旺盛
サスペンション・通信関連は下期回復基調を想定

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期				
	実績	上期予想	下期予想	年間予想	前期比 (額)	前期比 (率)
売上高	42,354	16,400	21,600	38,000	▲4,354	▲10.3%
営業利益	1,375	▲1,480	▲420	▲1,900	▲3,275	—
経常利益	1,336	▲1,560	▲270	▲1,830	▲3,166	—
当期純利益	1,123	▲1,150	▲130	▲1,280	▲2,403	—
一株当たり利益	35.33円	▲36.38円	▲4.12円	▲40.50円	▲75.83円	—
平均為替レート	108.74円/ドル	107.81円/ドル	108.00円/ドル	107.91円/ドル	—	—
	120.82円/ユーロ	119.24円/ユーロ	120.00円/ユーロ	119.62円/ユーロ	—	—

2021年3月期 製品区分別売上高見通し

POINT

■自動車分野

材料：中国・メキシコの弁ばね用鋼材好調で下期挽回

自動車：徐々に改善傾向だが、下期前期比▲7.2%

■電子情報通信分野

HDD用サスペンション：新規機種を増産ラインが完成し前期比で大幅増

プリンター関連の販売：オフィス用途の需要減が影響し減少

■その他

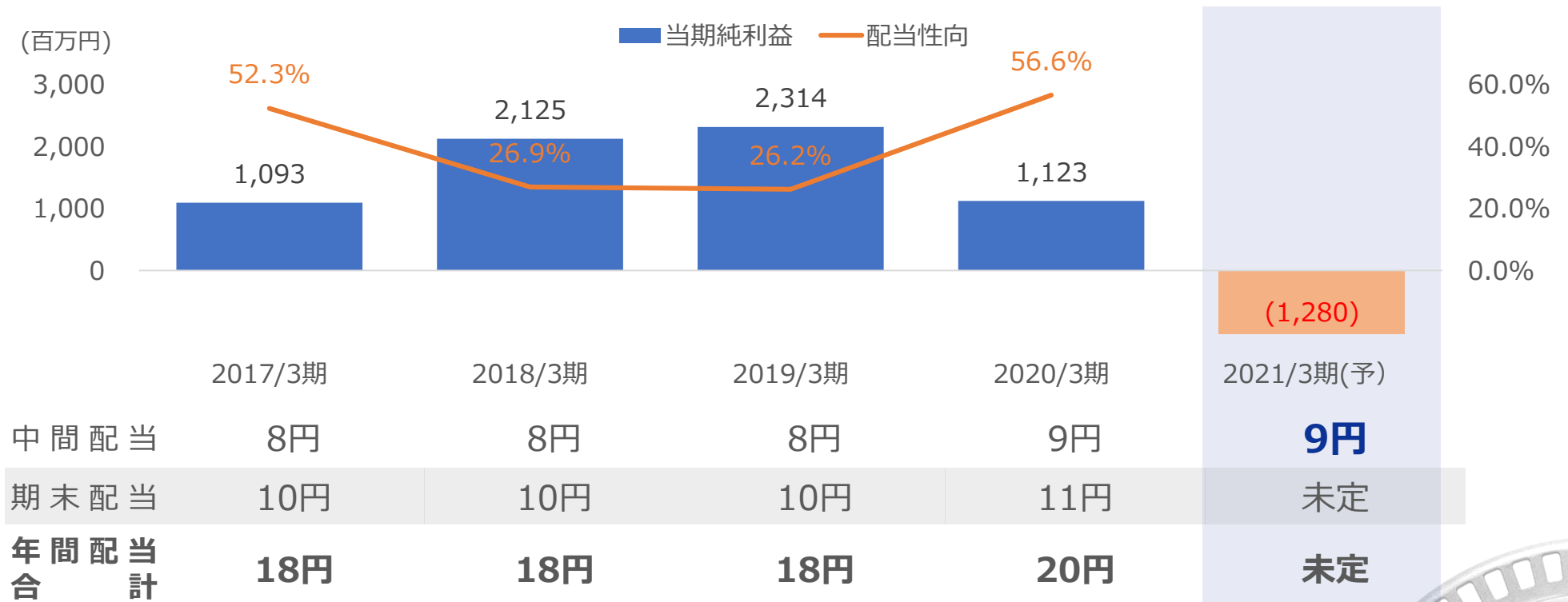
スマートフォン用部品：数量減等により大幅減

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期			
	実績	通期予想	前年同期比 (率) (上期)	前年同期比 (率) (下期)	前期比 (率) (通期)
売上高	42,354	38,000	▲21.9%	+1.2%	▲10.3%
自動車分野	30,249	24,940	▲30.9%	▲4.0%	▲17.6%
材料	5,057	4,875	▲19.0%	+11.5%	▲3.6%
自動車関連	25,192	20,065	▲33.3%	▲7.2%	▲20.4%
電子情報通信分野	10,396	11,900	+2.2%	+27.1%	+14.5%
HDD用サスペンション	6,092	7,875	+13.8%	+44.5%	+29.3%
プリンター	3,403	2,840	▲20.0%	▲12.9%	▲16.6%
通信	901	1,185	+9.2%	+58.1%	+31.5%
その他	1,708	1,160	▲2.3%	▲45.2%	▲32.1%

2021年3月期 配当方針

中間（第2四半期）配当9円（前年同期比変わらず）

配当方針	当期純利益が		配当下限目標	20円
	25億円まで配当性向	30%		
	25億円超配当性向	40%		



2021/3月期期末配当
 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済情勢から、引き続き未定とさせていただきます

【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。